

福岡県立山門高等学校



同窓会だより

2008.3.1

第11号

山門高等学校 創立95周年 OBを迎え記念講演



H19年10月31日

九州大学大学院
工学研究院教授

善 功 氏
ぜん こうき



H19年11月1日

衆議院議員

古賀 誠 氏

昨年10月31日、11月1日の2日間、創立95周年記念行事を実施しました。

10月31日は、1966年卒業の九州大学大学院工学研究院教授、善功氏をお迎えし、「福岡地震と液状化」と題し地震研究について講演され、大陸移動説や地殻変動などに触れ、「地震は繰り返すもので、過去のデータを調べるといつ起きるかがわかる。」と解説されました。

また、11月1日は、1959年卒業の衆議院議員古賀誠氏をお迎えして「夢はかなう」と題して講演。「挫折を乗り越えてこそ、次の志を立てることができる。高校3年間で人生に欠かせない血肉を吸収して欲しい。」と約600人の後輩を激励されました。



はくゆうかん

柏友館

同窓会館の愛称の由来をご存知でしょうか？



その由来は、校章が柏（かしわ）の葉であること、また柏の木は、晩秋に多くの落葉樹が葉を落す中で枯葉を落さず越冬し、翌年新芽が出てから古い葉を落すことから、柏の木のように同窓会がこれからも強い繋がりのもと、永遠に存続する事を願ってネーミングされました。

同窓会館（柏友館）前の柏の木を一度ごらんください。



枯葉を落さず越冬する
(2月中旬撮影)



緑の葉の柏
(H19年夏)

同窓生の活躍に思う



山門高校同窓会
会長
板橋 元昭

山門高校同窓会の皆様には
お健やかに平成二十年をお迎
えのことと存じます。

お陰様で昨年は五月三日の
総会も四月十四日の福岡山門
会も盛会に開催され大変うれ
しく存じております。

山門高校の創立は明治
四十五年ですから既に九十六
年の星霜を積み重ねてしまし
た。その間太平洋戦争後の学
制改革により男女共学の学校
となり、男子生徒が初めて卒
業したのは昭和二十七年三
月のことです。そして昭和
四十七年には創立六十周年を
迎え多彩な記念行事が行われ
ました。その折の同窓会総会
に於いて満四十才に達した卒
業年度の同級生が当番学年と
して総会を担当することが決
議されました。男女共学の第
一回卒業生が満四十才になり
当番学年として初めて総会を
担当していただいたのは昭和
四十九年春のことでありま
す。それから三十三年が過ぎ
ました。今では当番学年が一
年以上前から全国に散らばっ
ている同級生と連絡をとり合

い、自覚と責任をもって一生
に一度の母校への恩返しの際
会と捉え総会を下支えしてく
れています。その姿は本当に
美しいものであり積み上げて
きた伝統の力を感じないでは
おれません。お陰様で周辺高
校にも類をみない立派な総会
ができております。ところで
私は去る一月三十日、上京の
折、日本銀行に山門高校昭和
三十七年三月卒業の亀崎英敏
氏（旧山川町出身）を表敬訪
問しました。三菱商事㈱の副
社長を退任し昨年四月から日
本銀行政策委員会審議委員の
職にある方です。

政策委員会は福井俊彦総裁
の外二名の副総裁、六名の審
議委員の計九名で構成されて
いますが、その六名の審議委
員は、経済界二名、金融界二
名、学者二名となっております。
亀崎氏は経済界から選ばれた委
員という事です。大きく変
動する世界の経済金融情勢を
見極めながら日本の金融政策
を決定する、その見識ある立
場は大変な重責であろうと思
います。山門高校を卒業され
て四十五年、日本の金融を左
右する人物が私達の同窓生の
中より出ているということに
大きな感動を覚えました。

山門高校同窓生の中には日
本はおろか世界に評価される
人物も多々おられると存じま
すが残念ながら情報蒐集が出
来ておりません。これからはその様な方々の
情報を集め地元の皆様を紹介
しながら、山門高校を価値あ
る学校として目指してくれる
子供達が一人でも多くなる様
努力して参りたいと考えてお
ります。

ご挨拶



山門高校
校長
久保 大

同窓会の皆様にはますます
ご清祥のこととお喜び申し上
げます。

本年度の人事異動で、黒木
高校より第三十一代校長とし
て着任いたしました。

よろしくお願いいたします。
また、同窓会の皆様方に日
頃から本校の教育の充実振興
のために格別のご支援とご協力
を賜り心より感謝申し上げます。
すと共に、同窓会各位の母校
に寄せられる愛情の深さと期
待の大きさをしみじみと感じ
重ねて厚くお礼申し上げます。

さて、本校もいよいよ平成
二十四年に学校創立百周年を
迎えますが、生徒・職員も諸

先輩方が嘗々と築かれた歴史
と伝統を誇りとして、更にそ
れらを次世代の後輩に正しく
引き継ぎ発展させるべく持ち
前の明るさと律儀さそして意
欲をもって勉学や部活動をは
じめ諸活動に取り組んでいま
す。

学校の主な取り組みの成果
としまして、進学実績では国
公立大学の合格者数を例にあ
げますと、平成十六年度十九
名、平成十七年度は一学級減
となりましたがそれでも九州
大学三名を含む二十九名とし
て十八年度は三十六名と着実
に増加しております。

本年度は、学校教育目標
に沿って具体的目標を高く掲
げ、国・公立大学五十名以上
の合格をはじめ私立難関大学
への多数の合格をめざします。

また、「学びの場」にふさわ
しく文武両道の教育環境を整
え、高体連・高文連での全国
大会出場をめざして取り組ん
でおります。早速、高文連の
写真部門で全国大会出場を果
しました。高体連でも、剣道
部女子・バレーボール部男子
が特待生を抱える私立高校の
多い中、福岡県大会ベスト八
への進出を果たしており、そ
の他にも県大会出場を果たし
ているチームが続出しており
機会あることに、その活躍を
讃えているところです。

しかし、このように勢いが

ついてきた本校ですが、当然
ながら課題は数多くあるのも
事実です。その中で「第一志
望での進路実現」を校是とし
て、普通科高校として教育活
動のさらなる充実を第一義と
考えていますが、生徒の学び
への意欲、すなわちモチベー
ションの向上をいかに図るか
ということと、いかに効果的
な教育を提供していくかと言
うことが大きな課題である
と思われまます。その中でもと
りわけ教育活動の中心である
授業の充実については、研修
体制の充実や生徒による授業
評価、教師による自己評価、さ
らにはシラバスの積極的な活
用等、今以上の学力の向上が
最重要課題だと考えます。

また、自らを律し、他人と
協調し、思いやる心や感動す
る心の育成を目指しながら、
山門高校としての特色ある教
育活動を展開する必要があります。
従いまして、これから
も山門高校の歴史と伝統に培
われた叡智を終結し、課題解
決に臨んでいかなければなれ
ないと考えています。

つきましては、今後とも本
校に対するご支援・ご協力を
切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、山門
高校同窓会のみならずの発展
と会員の皆様のご健勝とご活
躍を心より祈念申し上げます。

同窓会総会を終えて

前年度委員長 六十年卒 大久保 佳史

本年度の同窓会総会におきましては多数の方々に参加をしていただき、盛会のうちに終了することができました。

これもひとえに、学校の施設設備を惜しみなく提供してくださった校長先生をはじめ関係職員の皆様、会運営の方からチケット販売に至るまで、多方面にわたり最後まで温かくサポートしていただいた同窓会役員及び関係会員の皆様のご支援とご協力の賜であると、実行委員会を代表いたしまして衷心より感謝申し上げます。

さて、今回は「つどい 語らい 絆びあう 行列のできる同窓会」をテーマに掲げ、例年通り三部構成で実施いたしました。

早朝より熱心に審議してい



丸山和也弁護士（現参議院議員）

ただいた第一部の総会の後、第二部の講演会では、知名度抜群の丸山和也弁護士（現参議院議員）をお招きしました。実際に参加された方はお分りかかと思いますが、一風変わった法律解釈をベースとしたユーモア満載の、まさに前評判、期待通りの内容で、体育館の二階ギャラリーにも立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。

さらに第三部の懇親会では、どこを見渡しても滞ることのない歓声と笑顔。ある意味講演会を遙かに上回る熱気で最後の万歳三唱まで大いに盛り上がり上げていただきました。



懇親会の盛況

思い返せば一年前、五十九年卒の先輩からタスキを受け継いで以来、地元在住のメンバーを中心に実行委員会を立ち上げ、細々ではありますが準備を進めてまいりました。

当初はこの重責を無事果たせるのかと不安に駆られてばかりの日々でしたが、メンバー一人ひとりの自己犠牲による努力と熱意が徐々に同期の仲間たちにも浸透し、当日は八十名以上の協力を得ることができました。改めて同窓の絆の深さというものを認識させられたいと思います。

最後にありますが、これまでこの栄えある母校同窓会の歴史構築の一助にならんとお思いで尽力してまいりましたが、皆様方のお力添えにより、まさに「行列のできる同窓会」を実現することができました。人生節目の歳に、この総会運営の大役を担わせていただきましたことに改めて感謝申し上げますとともに、次年度総会のさらなる発展充実を心よりお祈り申し上げます。

私達昭和六十年卒の時、担任として導いて頂いた南里三治先生です。先生は現在、黒木町に開校した輝翔館中等教育学校の校長を務められています。

シリーズ

新名物先生

その③



南里三治先生

山門高校に着任しました。教科は数学、部活動はサッカー部を担当しました。数学については、生徒諸君は、早朝補習や放課後遅くまでの補習などよく最後まであきらめずに頑張った生徒が印象に残っています。

●山門高校についての思い出は？

私と昭和五十六年に母校の山門高校に着任しました。教科は数学、部活動はサッカー部を担当しました。数学については、生徒諸君は、早朝補習や放課後遅くまでの補習などよく最後まであきらめずに頑張った生徒が印象に残っています。

●今後の抱負は？

先輩の皆様から教えて頂いたことを後輩の皆さんに伝えるとともに変化の激しい社会を担う人材の育成に務めたい。

●在校生の皆さんにメッセージ

山門高校は九十五周年を迎えていると聞いています。よき伝統を守り、新しい伝統を築いて下さい。また、自分の進路実現に向けて最大限の努力を期待しています。

●ありがとうございました。

取材 中村 健（六十年卒）

テーマ「伝えたい！時代が変わっても 変わらない大切なもの」



実行委員長
昭和六十一年卒
松尾 良介

早春の候、同窓生の皆様方におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

平成二十年度の同窓会総会は昭和六十一年卒業の私どもが担当させていただきます。卒業から二十余年、四十歳という人生の節目の年に、今日まで脈々と受け継がれてきたこの歴史と伝統ある山門高校同窓会の総会運営の大役を引き受けさせていただきますことに対し感謝申し上げます。

昨年、三町合併によりみやま市が誕生いたしました。と同時に、これまでにあった「山門」の地名はなくなり、ふるさと「山門」のゆかりはもはや山門高校だけとなってしまい、少しさみしい気がいたします。また近年の少子化に伴い私たちが卒業した年には三百六十名いた卒業生も本年は百九十三名と減少傾向にあります。周辺地域の県立高校では統廃合を進めざるを得ない状況となり、本校においても危機感を感じるところで



▲金美齢氏

す。創立から九十五年余、今の私たちがいるのも山門高校あってのおかげだと思えます。現在、実行委員会では久しぶりに再会した仲間が集い、企画運営に携わっています。二十余年経った今でも、当時の思い出話に花を咲かせ、まるで文化祭の企画をしているようなそんな懐かしさを感じることができると、私たちが山門高校卒業生であるからです。そんな卒業生であることの誇りや、山門高校の歴史と伝統を次代へと繋いでいくことが私たちの使命だと感じます。

そこで本年の同窓会テーマを「伝えたい！時代が変わっても変わらない大切なもの」とい



たします。講演会におきましては、テレビをはじめ、新聞、雑誌など各種メディアにおいて活躍されており、新聞、雑誌など講演いただき、金美齢氏にご講演いただきます。金先生は台湾で生まれ、幼少の頃日本にいられた。以来三十年以上にわたり台湾に帰国することを余儀なくされ、早稲田大学にて博士課程を終了後、多くの大学で講師を歴任されてきました。現在では、JET日本語学校理事長を務められ、幅広い分野にわたる様々な提言を行っていらつしやいます。そこで「次代に伝えたい美しい日本の心」と題し、私たち日本人が忘れがちになっている、日本人の誇りや美德についてお話いただきます。昨今における耐震偽装・賞味期限偽装等、「偽」日本に対しての愚をいれたいだくこと間違いなし！私たちが日本人がどうあるべきか、きつと皆さんも考えさせられることでしょう。

進路部より

進路指導主事 中村 辰男

同窓生の皆様には、日頃からご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。学校の指導目標である「第一希望での進路実現」を達成するため、個々の教育力を高めながら、将来を見据えた進路指導に努めていかなければなりません。そこで、我々教職員は「志を同じくする者が、互いに励まし努力する集団を形成する」ことを目指し、「生徒一人ひとりが皆のために何ができるか、皆がひとりのために何ができますか、を生徒に要求し続けていきます。その結果として、普通科高校の宿命である進学実績を上げることができ、同窓会をはじめ保護者や地域の皆様から期待と信頼を得ることになります。さて、本年度の三年生は在籍者数の約77%にあたる一四八名がセンター試験に出席、例年以上の出願率で進学意識の高さを示しています。また、個別試験では九州大学を始めとする難関大学を目指す生徒が多いことにも期待しています。



平成19年度卒業生
(平成20年3月卒業)

同窓会クラス役員

	男子	女子
1組	石崎 正悟	富久 静
2組	○川津 英史	紫牟田 梢
3組	原 祐輔	梅崎 美穂
4組	田中 大介	○大久保 杏
5組	矢ヶ部 英	江崎 仁美

(○は学年代表)

福岡山門会 総会のご案内

- 名称：福岡山門会総会・懇親会
- 日時：平成二十年度四月十二日(土) 午後二時半より
- 場所：福岡国際ホール (博多大丸最上階16F) 〒902-7222 八八五五
- 会費：男性七千円 女性六千円
- 問い合わせ先：〒902-8822 四八三三六 舞アパ内横山誠道(四十七年卒)

編集室より

本年の会報11冊は、昭和八十年卒の実行委員会が編集いたしました。快く寄稿していただいた皆様感謝いたします。



平成16年度制定の山門高校エンブレム
清水山のさし車伝説がモチーフ